

「Nヒート」シリーズに新商品「Nヒート驚暖ベスト」を追加!



第32号
2020.10月
NSP
株式会社 エヌ・エスピー
http://www.kkns.jp
バックナンバーはホームページからダウンロードできます

◆Nヒート驚暖ベスト新発売

昨年まで好評を博してきた防寒着「あったかベスト」に新たなラインナップとして「Nヒート驚暖(きょうだん)ベスト」が加わりました。

従来の「あったかベスト」はインナー用の防寒着として開発しましたが、アウターとしても利用したいというお客様の声にお応えし、デザイン性と機能性を重視した商品「Nヒート驚暖ベスト」が誕生しました。

〈製品の特長〉

一般的な電熱線で暖めるタイプではなく、面全体でムラ無く暖める「ラバー発熱体」を採用しています。

この「ラバー発熱体」は、電源を入れてからすぐに暖まる優れた素材で、お好みにより発熱体を3枚または4枚からお選びいただけます。

※発熱体は背中及び腹部を

暖めます。

発熱体を3枚使用する場合、バッテリーにもよりますが、8.5時間以上の連続使用が可能です。

ベスト本体の上部はハニカム模様のキルト素材になっており、保温性に優れています。

また、裏地にアルミプリント生地を採用することによって、ベストから外側へ逃げてしまう熱を反射することで熱効率と保温性を高めています。

腹部・腰回り・サイドには伸縮性の高いストレッチ素材を使用しており、体にジャストフィットし、サイズは3種類からお選びいただけます。

肌触り抜群のふんわり素材は、真冬の使用以外でも、発熱体を外して春秋のアウターとしても大活躍します。

従来品よりもデザイン性と暖かさが改善されました「Nヒート驚暖ベスト」を是非お試し下さい。

※「Nヒート」は、NSPオリジナル防寒用品ブランドとして商標出願中です。

発熱体用ポケット



NC-514 Nヒート驚暖ベスト

商品開発三課 曾 婉珍

◆ワーキングパワースーツX 新発売

2018年より発売しています「ワーキングパワースーツ」に新たな仲間が加わります。その名も「ワーキングパワースーツX(エックス)」です。



ワーキングパワースーツX

従来品と何が違うの?

展示会等で従来品をお客様にご試着頂いた際に、荷物を持ち上げる際の「アシスト力」や「姿勢の矯正力」にもっと力強いものがほしいという声がありました。

新製品の「ワーキングパワースーツX」は、特殊高反発パネを改良し更に、ダブルエックス構造(肩ベルトと腰ベルトをX形状に一体化)の仕組みにより、重量物の持上げ時の負担を大幅に軽減することが実現しました。

開発のコンセプト

いわゆる「パワースーツ」と呼ばれるものには2種類あります。

衣類用生地や伸縮性素材を用いた「無動力タイプ」と、空気圧や電力を用いた「動力タイプ」です。

無動力タイプのものは価格帯が安価である為、動力タイプより導入し易いというメリットが挙げられます。しかし、特に重量物を持ち上げる際のアシスト力の面では動力タイプに劣ると言われています。

そこで新製品(X)は、無動力タイプですが、動力タイプにも劣らないアシスト力を目指し開発しました。

製品の特徴

物を持ち上げる動作は、体に

負担をかけにくい動作に合わせ、背中部分と膝を戻す為の反発力が必要不可欠でした。

そこで、「1. 高反発特殊パネを従来品の2倍以上に強化」し、さらに腰から背中まで伸ばした事で、アシスト機能のアップに成功しました。



作業風景

更に、「2. 肩ベルトと腰ベルトをX形状に一体化」させ、背筋力をアシストする構造にすることで、作業姿勢のサポートや体幹を強化させる事ができるようにしています。

また、膝を戻す動作には「3. 腰から膝に繋がる強力なゴムの張力」により起き上がる動作をアシストしてくれます。

この3つの仕組みにより無動力パワースーツの常識を覆す「ワーキングパワースーツX」が完成しました。

新次元のアシスト力を実現した「ワーキングパワースーツX」をぜひご体感ください。

【2020年11月1日販売開始予定】

商品開発二課 小川 佳和

電線地中化に向けての新商品「らくらくインフラBOX」!

《らくらくインフラBOX》

この度、無電柱化工事に使用する新たな製品としてアルミ製小型ボックス「NSP らくらくインフラBOX」が加わりました。今号では、無電柱化工事と「NSP らくらくインフラBOX」について簡単に紹介させていただきます。



NSP らくらくインフラBOX

「無電柱化」とは、「電線類地中化」や「電柱地中化」等とも呼ばれ、町中にある電柱・電線を地中に埋設する事によって、災害時の二次被害の防止や、景観の向上を目的として行われます。

国交省が全国で普及を行うべく、30年以上前から推進計画が進められています。がなかなか進まず、最も無電柱化が進んでいる東京都内でも普及率は8%。まだまだ余地が残っているのが現状です。

そこで国交省は、201

6年より新しい工法の検討を行い始めました。その内の1つが、「小型ボックス工法」と言われる工法です。

この工法は、箱状の埋設物(小型ボックス)の内部に、電線や通信線を直に設置する工法です。従来の工法と比較して、管を埋設する必要が無く、浅層に埋設を行う為、メンテナンス性が高く、民地への引き込みも格段に行いやすくなっています。



『NSP らくらくインフラBOX』は、そんな小型ボックス工法にご使用頂ける、リユースアルミ製の小型ボックスです。既存のコンクリート製の物と違ってアルミ製で、10分の1程度の重量しかありません。また、民地への引き込みも、従来の物よりもさらに簡単に行えるようになりました。

製品の更なるご紹介や、詳細なスペック等は、次号のNSP通信にて改めてご紹介させていただきます。または、お近くの営業所や担当営業までお気軽にお問い合わせください。

企画部 岩崎 孝規

《チルトローテータに新タイプ登場》

2020年7月より、チルトローテータ「4ホース仕様」の取り扱いを開始しました。



チルトローテータ 4ホース仕様

この商品は、「5本配管」の油圧シヨベルに装着する機種となります。

「5本配管」とは、主に解体作業や林業関連で使うアタッチメントを操作する為の油圧配管付き油圧シヨベルの事を指します。(既存品には往復配管が必要です)

チルトローテータ「4ホース仕様機」のメリットは、油圧シヨベル側の操作機能を利用する事で、チルトローテータ側の制御機能を最小限にしてあり、既存の「Xコントロール仕様」と比べて安くなります。

また防水性能の関係で、取付けが出来なかった「キャノピー仕様機」への取付けも可能になりました。

これまでの「5本配管機」は、アタッチメントの操作をフットペダルで行うため、ジョイス

ティックのような微妙な操作ができなく、現場での実作業には不向きでした。



操作レバー

ところが、2020年1月にコマツ製作所から発売された「PC30MR-5ミニシヨベル5本配管付・プロポーションナルスイッチ仕様機」が、ミニシヨベルでありながら、操作レバーに「比例制御スイッチ」が標準装備された事で、懸案であったチルトローテータの操作性をもカバーできるようになりました。



比例制御スイッチ

これで、チルトローテータに「キャノピー仕様機」にも取付けが可能となり、今後ますます普及して行く事と考えております。

掘削作業の効率化が図れる「チルトローテータ」。詳しくは担当営業までお問合せください。

企画部 小木曾 岳

《編集後記》

今年是全国的に長梅雨でしたが、本社のある岐阜県中津川市では大雨特別警報を含む気象警報により、市内の学校が丸々一週間休校になりました。

最初は休校を喜んでいた我が家の子供たちも、週の後半にはさすがにうんざり。

更にコロナ休校に加え警報休校のおかげで、子供たちの夏休みは寂しくお盆の一週間だけに。

ところが何事にもポジティブな長女は「短い分、夏休みの宿題も少ないから、これも悪くない」と・・・

子供の方が順応が早いなど感じました。

企画部 相澤 吉輝

